

でんでんくん



でんでんくん



きぬたくん



つちこちゃん

発行：きこえとことば支援センター（秋田県立聴覚支援学校内）

インクルーシブ教育の一層の進展を願って

特別支援教育アドバイザー 佐藤 淳

令和5年度がスタートし、難聴理解研修が早々に行われました。大型連休前には6校（小学校5校・高等学校1校）で行われ、私も3校の研修に同行しました。先生方にとっては難聴擬似体験のインパクトが大きく、様々な視覚的な情報も大切なことや、往々にして孤立感を覚えることなどに気付き、配慮の必要性を実感する機会となったようです。

難聴児童生徒にとっては、新しい環境に適応すべくいろいろと試行錯誤する時期です。例えば、小学校高学年以上では「どの授業でロジャーを使ってもらった方がよいのか、肉声を補聴器で拾った方がよいのか」、「どの友達が自分を理解してくれているか、さりげなく助けてくれるか」等々です。

インクルーシブ教育の理念の理解が進み、難聴学級に在籍しても多くの授業を交流学級で受ける時代となりました。また、通常の学級に在籍する難聴児童生徒も少なくありません。「みんなと一緒に学びたい」という願いに応え、“授業内容が分かり学習活動に参加している実感・達成感をもちながら、充実した時間を過ごしつつ、生きる力を身に付けていける”よう、私も『きこえとことば支援センター』の職員と共に、できる限りの情報提供をしたいと思います。

なお、難聴理解研修（職員向け）、難聴理解授業（児童生徒向け）の申込みは、年中受け付けていますので、どうぞご利用ください



難聴児の授業を担当する際の配慮点

正確な実態把握のもと、きこえに合わせた適切な配慮を行きましょう。

○指導場面における基本的な配慮

- ・音声、手話、文字等、コミュニケーション手段を選択して活用します。
- ・理解につなげるために、視覚的教材や板書の工夫をします。
- ・対面で口形を見せる、少しゆっくり目の速さ、明瞭な発音など分かりやすい話し方を工夫します。
- ・分かったことを言わせるなど、伝わっているかの細かな確認を行い正しく理解できるようにします。

○情報保障の配慮

- ・必要に応じて、パソコン要約筆記、ノートテイク、手話通訳などの配置
- ・補聴器、ロジャー等の効果的な使用や教室内の騒音の軽減対応



指導内容の配慮

- ・言語力を伸ばすには、文字で正確な情報が得られる読書がよいといわれています。興味を広げ、語彙を増やすためにも読書指導を充実させましょう。更に、読み書きの力を高める指導も工夫が必要です。例えば、身近な出来事やニュースなどを題材に、助詞を含んだ文章でやりとりして文法の理解につなげたり、作文を継続して書く力を伸ばしたりできるようにします。
- ・障害認識のための指導（聞こえにくさを見つめる指導）を行い、障害を受容し、たくましく生きる力を育てる指導を工夫していきます。

参考：聴覚障害に関する学校における配慮事項について「文部科学省 初等中等教育局特別支援教育課」

修学旅行・宿泊学習に向けて

新型コロナウイルス感染症の5類移行など社会情勢の

変化にともない、県外への修学旅行や宿泊を伴う行事を実施する学校が多いようです。難聴児童生徒が参加する場合に注意してほしいポイントをまとめました。自宅から離れる機会に、補聴器や人工内耳の管理を自分でできるように、保護者と連携していただきたいと思います。

事前に

- ・補聴器や人工内耳の自己管理ができるように家庭で練習しておく（電池交換、充電、ケース保管）。
- ・人工内耳の電池やロジャーは、「誰が」「どの部屋で」充電するのかを決めておく。

宿泊当日

- ・予備の電池を携帯する。
- ・入浴・就寝時には補聴器や人工内耳の置き場所を決めて、乾燥ケース等に入れて保管する（必ず電池を外してから入れる）。

学校外での情報保障

- ・可能ならばガイドの方にもロジャー(補聴援助システム)を使用していただく。
- ・すぐに取り出せるメモ帳と鉛筆を準備しておく。(児童生徒、教師)



「でんでんくん」の送付、並びに掲載内容の希望から



全県の小・中・高等学校、特別支援学校から、たくさんの送付希望と掲載内容に関してのご回答をいただき、ありがとうございました。

掲載内容の希望として、自立活動や学習支援の具体的な実践例、障害理解についての御要望が多くありました。また今年度は、進路情報についての御要望が多く寄せられました。本校の卒業生の進路状況や、各学部の学習の様子について、また聴覚障害のある生徒への求人等についても、積極的に情報提供していく予定です。

また「聴覚障害支援ガイド（本校のホームページからダウンロード可能）」にも、補聴器や指導の際の配慮点、Q&A方式による学習支援についての情報等、様々な内容が載っていますので、「でんでんくん」と併せて御覧ください。今後も御要望のあった内容について掲載していきますので、御意見や御感想をよろしくお願いたします。

研修会や学習会のお知らせ

〈聴覚障害教育担当者研修会について〉

今年度は、8月2日（水）に本校を会場に実施予定です。詳しい内容は未定ですが、「きこえとことばのオンライン相談室こもれび」を開設している言語聴覚士 氏田直子先生をお迎えした講義、講演となります。氏田先生は、補聴器や人工内耳、障害認識等について造詣が深い方です。今後、内容等詳細が決まりましたら、在籍校を通じて参加申込書を送付いたします。

〈手話学習会①〉令和5年7月12日（水）15:50～16:30

習熟度に応じて3グループに分かれて実施します。参加希望の方は電話・FAX・メール等で「きこえとことば支援センター」小松までご連絡ください。

きこえとことば支援センター（秋田県立聴覚支援学校内）【直通携帯電話】090-8784-6302
〒010-1409 秋田市南ヶ丘一丁目1番1号

【聴覚支援学校】TEL：018-889-8572 FAX：018-889-8575

E-mail：chokaku-s_shien@akita-pref.ed.jp